

ポスト1300年祭構想

「南部を元気にする」構想

「(仮称)吉野・高野・熊野の国」の建国

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の活用



国の建国理念に反映

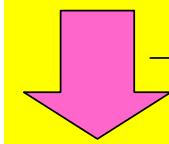
「紀伊山地の霊場と参詣道」の魅力
悠久の歴史と自然に抱かれ、信仰がおりなす祈りと神話の世界
多様な文化と自然が一体となって醸し出す寛容性と神秘性

【目的】

三重県、奈良県、和歌山県にまたがる世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を活用。
世界遺産を中心とした吉野・高野・熊野地域を象徴する架空国「(仮称)吉野・高野・熊野の国」を建国。
この国をテーマとする各種イベントの開催や広域観光ルートの開発などに三県が共同で取り組み、地域の活性化を図る。

【経緯】

- 紀伊半島知事会議
平成21年7月の登録5周年を契機に、三県が世界遺産の保全と活用に向け今後一層連携
- 世界遺産をテーマとした3県共同事業の実施
H20・21 スタンプラリー ツアー造成 フォーラム



【事業構想】

○ 取組主体
「(仮称)吉野・高野・熊野の国」建国事業実行委員会
構成/奈良県、三重県、和歌山県、各観光連盟・協会

○ 事業内容

ア 建国事業

- ・国の象徴(人・PR大使)の選定
- ・エリア、事業の検討
- ・シンボルマークの募集

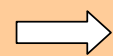


建国宣言

日時・場所/平成22年7月8日
(紀伊半島知事会議終了後)
平城宮跡大極殿院
式典内容 /3県知事による建国宣言

イ 「(仮称)吉野・高野・熊野の国」事業

- ・ホームページ、ガイドブックの制作
- ・優待パスポート
- ・吉野・高野・熊野の国ツアー
- ・建国記念物産展の開催
- ・パートナー募集



周遊型観光地としての魅力の向上 → 南部地域の活性化